

武庫川水系河川整備計画

(原案)

参考資料

平成 22 年●月

兵 庫 県

資料の位置付け

本資料は、武庫川水系河川整備計画(原案)において、必要性・実現可能性の検討を継続とした既存利水施設の治水活用についての検討状況および新規ダムに係る武庫川峡谷環境調査状況について武庫川流域委員会に提示したものを、平成22年●月時点でとりまとめたものである。

目 次

資料1	既存利水施設の治水活用についての検討状況・・・・・・・・・・・・・・・・	(第57回流域委員会 資料3)
資料2	新規ダムに係る武庫川峡谷環境調査状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	(第58回流域委員会 資料3)

1 既存利水施設の治水活用についての 検討状況

要 旨

河川整備計画（原案）において、既存利水施設の治水活用は、原案に位置づけた「青野ダムの予備放流容量拡大」を除き、その必要性・実現可能性の検討を継続することとしている。本資料は、これまで検討した既存利水施設の治水活用についての実現可能性に関する検討内容と結果、水道事業者との合意形成等の課題や、これらの課題に対する今後の対応方針について平成 22 年 3 月時点でとりまとめた資料である。

資料構成

既存利水施設の治水活用についての検討状況

- 1 はじめに
- 2 検討概要
- 3 洪水調節容量の確保についての検討（①予備放流）
- 4 洪水調節容量の確保についての検討（②洪水期水位活用）
- 5 洪水調節容量の確保についての検討（③水源余力活用）
- 6 千苺ダムの改造についての検討
- 7 検討結果と今後の対応

2 新規ダムに係る武庫川峡谷環境調査 状況について

資料 2 新規ダムに係る武庫川峡谷環境調査状況について

(第 58 回流域委員会 資料 3)

要 旨

河川整備計画（原案）では、新規ダムは位置付けず、その必要性・実現可能性の検討を継続することとしている。

本資料は、新規ダムが峡谷の自然環境に及ぼす影響を把握するために実施した武庫川峡谷環境調査の調査状況について平成 22 年 3 月時点でとりまとめた資料である。

資料構成

- 武庫川峡谷環境調査に係るこれまでの経緯
- 新規ダムに係る武庫川峡谷環境調査状況について
〔分野ごとの調査結果〕
 - I 景観
 - II レクリエーション
 - III 動物
 - IV 植物・植生
 - V 試験湛水
 - VI 湛水に係る事項